

「江戸の街の上水と下水 ―江戸の上・下水の歴史と市民のくらし―」

東京都水道歴史館 企画調査責任者

金子 智 氏

徳川家康は、関東への移封ののち、江戸を中心とした新たな支配体制を確立し、後の江戸幕府の基盤を築きました。当時の江戸は、大湿地帯という都市には適さない環境でしたが、多くの堀の掘削、入江の埋め立等の土木工事を突貫工事で行い、更に利根川の付け替え工事によって生活環境を確保するとともに、江戸市民のために、井之頭池を水源とする現在の神田川の水を引いて、飲み水を安定確保しました。

今回は、覇府としての江戸城下に飲料水を供給するために造られた「江戸上水」の誕生と神田上水、玉川上水の歴史、江戸の市民生活と上水・下水のかかわりについてお話いただきます。

ご興味・ご関心のある方はもちろん、またご家族の皆様にとっても興味あるお話と思います。お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

1. 日程： 5 月 16 日(土) 14:00-16:30(13:30 会場 受付)

2. 会場：品川区総合区民センター(きゅりあん)4F 第一特別講習室

JR 大井町駅東口 駅前 <https://www.shinagawa-culture.or.jp/curian/access.html>

☆ WEB (ZOOM オンライン)参加も可能です。

3. 講演概要

徳川の覇都・江戸の街には上水道が整備されていました。最大 100 万人を超えたといわれる大都市江戸の生活を支えたのは「上水」と呼ばれた優れた水道施設だったといえるでしょう。また、生活排水を捨てるための下水や、衛生環境を保つためのトイレも、市中では重要なインフラとして存在していました。本講演では、神田上水と玉川上水という「二大上水」を中心に江戸の上水道の歴史を紐解くとともに、生活の基盤となった下水やトイレの様子についてもご紹介します。

4. 講師略歴

1966 年生まれ 山口県佐波郡徳地町(現山口市)出身

早稲田大学第一文学部史学科日本史学専修卒業後、同大学院文学研究科史学(考古学)専攻博士後期課程単位取得退学

2017 年より東京都水道歴史館の学芸員として勤務

5. 参加費：事前に Peatix (WEB チケット) でお求め下さい。

- ・ STF 正会員 (WEB 参加) 500 円
- ・ STF 正会員 (会場参加): 無料 (要申込)
- ・ 友好団体会員/メンバー (会場/WEB): 1,000 円
異普奇会、経営支援 NPO クラブ、小石川後樂園庭園保存会、J-SCSCORE、
次世代農業フォーラム、シニアエキスパートフォーラム (SEF)、テクノメイトコープ (TMC)
BCC-NET、表界研 など
- ・ 学生、当セミナー元講師: (会場/WEB): 1,000 円
- ・ 一般 (会場/WEB): 1,500 円

【Peatix の利用法】 <https://stf.or.jp/top/images/file/m517.pdf>

上記 URL を参照し、アカウント取得 (登録) の手続きをした上でお申込み下さい。

パスワードを忘れた方 ⇒ <https://stf.or.jp/top/images/file/m631.pdf>

なお、Peatix の利用ができない (or 操作不明な) 方は、担当までご相談下さい。

6. 参加申込：期限内に下記 URL からお申し込みください。

<https://peatix.com/event/4845341> <https://peatix.com/event/4845341>

- ・ 事前申込ない方の当日の会場 (飛び込み) 参加はできません。
- ・ 申込締切: クレジットカード払いの場合; 5 月 13 日 (水) 24 時、コンビニ/ATM (ゆうちょ銀行・ペイジー等) 払いの場合 [手数料負担願います]; 12 日 (火) 迄
- ・ 申込確認ができた方へは、順次受付メールを送ります。
- ・ 手元資料や ZOOM の URL、PC などは、開催前日 12 日 (金) までにメール配信します。
- ・ 領収書の必要な方は、<https://stf.or.jp/top/images/music/m380.pdf> をご覧下さい。

NPO 法人 科学技術者フォーラム (STF)

5 月度セミナー担当: 後藤 幸子

E-mail: sgotoh@jcom.home.n.e.jp

Mobile: 090-7241-3113
